

「津波からにげる」について

- 津波から命を守るため、①迅速かつ自主的に避難するという意識の向上、②避難のために必要な津波の正しい知識の獲得、③日頃から津波に備えることの大切さを学ぶことができ、かつ、学校の授業等で活用を期待して津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」を作成しました。



DVDのジャケットとラベル

「津波からにげる」の内容 その1

◎アニメーション（約5分）及びインタビュー（約4分）



アニメーション



東日本大震災における岩手県釜石市立鵜住居小学校の子どもたちが、避難先を何度も替えながら津波からにげた様子をアニメーションで再現。自分たちと同世代の避難の様子が描かれることで自分達のこととして受け入れやすく、更に、アニメーションとしたことでわかりやすく、子どものうちから継続的に津波避難等について学ぶことができる内容としました。

また、実際に避難した先生や子ども達のインタビューを交えながら「津波からどのようににげたらよいのか」を伝える内容もまとめています。

インタビュー



「津波からにげる」の内容 その2

◎津波クイズ（約4分）



津波に関する基礎的な知識を4つのクイズとして出題。回答は映像を交えて解説し、難解となりがちな内容を楽しみながら学ぶことができます。

◎防災マップを作ろう（約3分）

日ごろからの備えも重要です。「防災マップを作ろう」では、三重県尾鷲市立宮之上小学校で取組まれた防災マップの作成の事例を紹介。子ども達が町に出て、危険な場所を調べたり、調べた結果を地図上に示していく経過を紹介しています。



◎解説編（本編と同じ約17分）及び資料映像

ビデオがどのような内容か確認する際の参考としての「解説編」や、津波と普通の波の違い、避難訓練の取組みの様子などの映像を収録。事前の参考や個別説明の資料として活用されることを期待しています。



解説編



津波と波の違い



避難訓練

「津波からにげる」を活用してもらうために

- 本ビデオでは、子どもにもわかりやすく伝えられるよう、アニメーションやクイズ等を取り入れてました。
- また、先生が活用するためのポイントを「解説編」として収録、ワークシート「津波防災ハンドブック」を併せて作成するなど、学校の授業で活用していただくためのアイデアを取り入れました。
- その内容や活用案について紹介します。



家族と津波の話をしましょう

「津波からにげる」を見て気づいたことを書いてください。

気づいたことを家族に話し、津波からどのようにひなんすれば良いか話し合ってください。どのようなことを話しましたか？

家にひとりであるときに地震がおこったらどうしますか？津波警報を見聞きしたらどうしますか？

そのほか、話し合ったことを書いてください。

お問い合わせ先
気象庁 地震火山部 地震津波防災対策室
〒100-8122 東京都千代田区大塚町 1-3-4
電話：(03)3212-8341 (代表)
FAX：(03)6689-2917 (耳の不自由な方向け)
http://www.jma.go.jp/

監修 全国学校安全教育研究会会長
福岡区立志村第一小学校校長
矢崎 良明

12

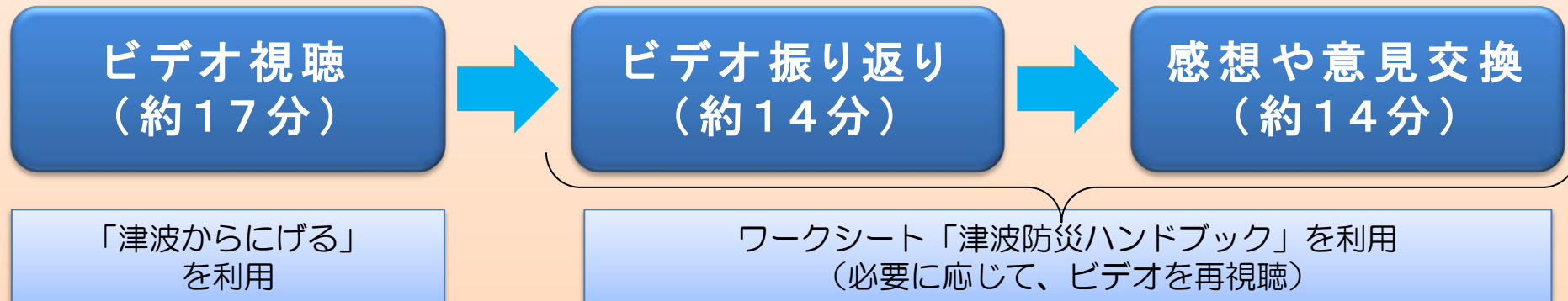
「津波からにげる」
津波防災ハンドブック

1・2年生用		3～6年生用	
頁	内容	頁	内容
2	「つなみからにげる」ワークシート	7	「津波からにげる」ワークシート
3	「つなみからにげる」の解説	8	「津波からにげる」の解説
4	津波クイズの問題ワークシート	9	津波クイズの問題ワークシート
5	津波クイズの解答・解説 1	10	津波クイズの解答・解説 1
6	津波クイズの解答・解説 2	11	津波クイズの解答・解説 2
		12	メモ用シート (裏表紙)

ハンドブック

「津波からにげる」の活用について

1 基本的な活用のイメージ例（45分～1時間程度）



2 活用にあたっての事前準備

- ① ビデオを少しでも円滑に活用してもらえするため、ビデオの内容で注目すべき所や補足となる内容を文字テロップで埋め込んだ「解説編」の事前視聴
- ② ビデオと共に提供するワークシート「津波防災ハンドブック」の回答例やポイントの確認（回答例を記載していないものは気象庁HP等からダウンロードできます）

3 活用場面の例

- ① 訓練における事前説明（訓練直前の他、当日前の事前の学習機会など）
- ② 総合学習や道徳の時間などを活用した防災授業
- ③ 気象台職員や自治体職員などによる出前講座
- ④ 校外学習や臨海学校（特に海の近くに行く場合）の事前学習（注意）

「津波からにげる」の活用について その2

4 活用の目標

- ① 迅速かつ自主的に避難するという意識の向上（主にアニメーションとインタビュー）
- ② 避難のために必要な津波の正しい知識の獲得（主にクイズ）
- ③ 日頃から津波に備えることの大切さを学ぶ（主に防災マップ）

5 活用展開例と活用ポイント

- | | | |
|--|---|---|
| ① 導入として、大地震や津波はいつ起こってもおかしくないことや、大きな被害をもたらすことなどを伝える | ➡ | ① 地震や津波が身近なものとして認識できたか |
| ② 「津波からにげる」を視聴する | ➡ | ② 津波に関する避難の意識を認識できたか |
| ③ ワークシート「津波防災ハンドブック」を活用して、津波からにげるための意識をより高めてもらうため、ビデオ内容の振り返りを行なう | ➡ | ③ 避難訓練の大切さや、高い所に率先して避難する意識などが身についたか |
| ④ ワークシートの「津波クイズ」部分を活用して、津波に関する知識、特に津波から避難するために必要な知識を獲得する | ➡ | ④ 津波に関する知識を獲得することができたか |
| ⑤ まとめとして感想を発表してもらう。また、家族や周囲の人たちと津波からの避難や、その方法などについての話し合いを促す。 | ➡ | ⑤ 津波から身を守る意識や知識が獲得できたか、防災意識を共有することの重要性を理解できたか |

※詳細については、「学習指導参考例」もご覧ください。